

会 議 録

会議の名称	令和5年度第4回茨木市環境審議会
開催日時	令和6年3月15日（金） <div>午前</div> 午後）10時00分 開会 <div>午前</div> 午後）12時00分 閉会
開催場所	茨木市役所南館 防災会議室
議 長	岩渕 善美
出 席 者	岩渕 善美、大岩 賢悟、風間 明広、金谷 健、狩野 尚美、 久米 辰雄、諏訪 亜紀、田中 耕司、山田 俊一【9人】
欠 席 者	奥野 美鈴、佐藤 匠、前迫 ゆり【3人】
傍 聴 人	4人
事務局職員	松本産業環境部長、中村産業環境部次長兼環境事業課長、 高橋環境政策課長、井澤環境政策課長代理兼政策係長、 山下環境政策課推進係長、森田環境政策課政策係職員【6人】
開催形態	公開
議題・報告	1 議題 (1) 茨木市再生可能エネルギー導入戦略（案）に対するパブリックコメントの対応について (2) 茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に対するパブリックコメントの意見とその対応について (3) 答申（案）について (4) 次期茨木市環境基本計画の策定について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・茨木市再生可能エネルギー導入戦略（案）に対するパブリックコメントの意見とその対応 ・茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に対するパブリックコメントの意見とその対応 ・答申書（案） ・次期環境基本計画の策定について ・第3回環境審議会の質問・指摘事項への回答

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開会
事務局	<p>本日の会議の成立について報告する。</p> <p>本日の出席状況は、委員12名のうち、9名の出席をいただいております、審議会規則第3条第2項により本会は成立している。</p>
会 長	<p>それでは、議題に入る。</p> <p>議題(1)、「茨木市再生可能エネルギー導入戦略(案)に対するパブリックコメントの意見とその対応について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	「茨木市再生可能エネルギー導入戦略(案)に対するパブリックコメントの意見とその対応について」資料に基づき概要を説明
会 長	<p>事務局から説明があった。意見交換の時間は30分とし、10時50分までとしたい。</p> <p>また、意見交換時間内に言いそびれた意見等があれば、会議終了後、事務局まで電子メール等にて送付することでお受けいたしたいが、そのような進捗で良いか。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p>
会 長	それでは、意見交換を行いたい。
久米委員	<p>新旧対照表のP.3の廃棄物発電についての修正は、誤解を与えるので正しく表記されたほうが良い。廃棄物発電のうち、厨芥ごみは再生可能エネルギーで、プラスチック等は、未利用エネルギーの範疇になる。</p> <p>資源エネルギー庁のホームページに掲載されているが、再生可能エネルギーの中に「生活系ごみ」があり、「湿潤系」に入っていて、国も、ごみ発電のうちの厨芥ごみは、再生可能エネルギーとして非常に期待しているので、それを含めて「廃棄物発電は未利用エネルギー」と書いてしまうと、逆に正しい理解が進まない。確かに、廃棄物発電の中の熱利用の部分と再生可能エネルギーにカウントできない部分は未利用エネルギーの範疇である。けれども、茨木市もやっていると思うが、ごみの成分を全部分析し、その中で厨芥系ごみは何%あり、その中で低位発熱量は何%あるかを分析した上で再生可能エネルギーの比率を国も大阪も全部出している。そのようにして再生可能エネルギーの範疇に区分しているので、この修正だと、環境教育も含めて、ごみは廃棄物発電</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
諏訪委員	<p>だ、未利用だという間違っメッセージを与えるので、そこを正しく、もう一度修正をかけていただきたい。</p> <p>市民の皆様からすばらしい意見を賜っている。非常によく理解されている「賢い」市民の皆様、いい意見がたくさん出ており、茨木市民の方のリテラシーの高さに驚いている。</p> <p>その上で、これだけいい意見を賜っておいたのならば、こちらとしてもそれに見合う考え方というか、覚悟みたいなものが必要である。そうでないと、「市民のほうはすごくりテラシーが高いが、ちょっとどうなの」と思われてしまう。</p> <p>それを考えたときに、一つ一つの意見が本当にすばらしいのに、それに対する修正案が、「等」を入れる細かいテクニカルなところに入り込んでいる。もっと本質的なところ、スピリッツみたいなところをちゃんと受けとめて書く、また、ただ書くだけが目的ではなくて、書いてもやらなければしょうがないので、施策につなげるためにどうしようというふうに、戦略として練っていくという姿勢が私たちに求められている。</p> <p>テクニカルなところは、一つ一つ本当にすばらしいので、私がここで「ここはこうですか」とすると、そこだけの修正となることが怖いので、あまり言いたくないが、この意見をどこかでちゃんと反映しようという気持ちを私たちは持つておくべきだと思う。</p>
久米委員	<p>パブリックコメントの意見より再生可能エネルギーの8種類の中で、水力発電は長期的な取組だと市民に思われている節がある。茨木市のホームページを見ると、茨木市の水道施設における小水力発電事業の実施として、今年度の2月に小水力西穂積配水場で、多分30キロワットだと思うが、18万キロワットアワー、要は60軒分の家庭用の年間の電力を賄う見込みと書いてある。小水力で今すぐできることは結構早い。例えば茨木市は配水場がほかにも5カ所ぐらいあると思うし、例えば安威川ダムなども、落差がある。安威川ダムは府の管轄になると思うが、茨木市の山間部は傾斜が結構あって、小水力を置こうと思えば、30キロワット以上の、例えば100キロワット級を置けるだろうし、もっと小さいところと言うと3キロワット級などは、農業用水系などのところにどんどん導入できる。意外と早いし、稼働時間が8000時間近くあるので、そういう啓蒙活動も入れてほしい。</p> <p>また、太陽光に偏っているが、この十何年、国も大阪府も茨木市も必死で太陽光導入の補助施策を実施して、今のこの状況である。先ほどのごみも含めて、市民が工夫することで、再生可能エネルギーは、この8</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>種類の中でいろいろ増やせる。</p> <p>だから、今後そのような8種類全般を見渡して、市民へのPR、啓蒙が必要である。例えば、配水場だけでなく、下水処理場でも浄水場でも小水力はできる。下水処理場も茨木市は幾つかお持ちだと思うが、放流する際に、河川に出すときに、大量の水を毎日出すので、それを少しでも回収しようと思えば、いっぱいある。だから、そういう部分を、前回言ったように、「市ができる部分はこういうこととこういうことで、こんな大まかな戦略を持っています」と。「太陽光」と言っても、賃貸や事務所などで働いているオフィスの社員は、入れてほしいと思ってもなかなか入れられないから、事業者向けには「こういうことをお願いします」とか「意識をこうしてほしい」という部分と、あとは市民の教育で、「市民さん一人一人に対してどういうお願いができます」とか、逆に「今こんな取組をやってもらっています」とか、逆に言ったら、これができるから一般市民の方の意識がこんなに高いし、あとでまた、別表のほうで出てくると思うが、茨木市の若者世代の環境意識がすごいと思って見ているのは、子供たちへの環境教育が進んでいるからだと思う。そういう部分を含めて、再生可能エネルギー全体が太陽光に偏らないように、ほかのものもまだまだポテンシャルがあり、具体的に進められるというようなロードマップ。小水力の記載が「導入します」と書いてあるが、補足すると、「これぐらいの潜在力があって」、期待を持たせる意味で、「令和6年度に18万キロワットの導入が決定しました」と。事業所を公募し、手を挙げてきて実現されており、非常に短期間に決まっているので、このような取組も大事なので、今後、このようなPRや事業者参加型の提案、いろんな再生可能エネルギーを含めて、公募型でふやしていく取組が大事である。</p>
事務局	<p>小水力発電については、公共施設にどのような再生可能エネルギーを導入していくかは、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」で取りまとめる形になっており、そちらも見直しを進めている。事務事業編についても、継続的に話し合いを行い、進行管理をしながら、やっとなんとか小水力を一つ実現したという状況である。今後も庁内意識を高め、可能なところについては、順次進めていくという話はしていきたい。今すぐに導入となると、コスト面や、周辺地域の皆さまの意向もあるので、協議・調整等も必要となる。すぐに導入という事は、むずかしいが、順次協議を行い、導入できるところから取組をすすめたい。</p>
会 長	<p>再生可能エネルギー導入戦略のP. 35中長期的な取組イメージとして、小電力発電や木質バイオマス利用、工場等の廃熱利用等の記載があ</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>り、その中で可能性のあるところを記載していると思うので、今後増やしていくのであれば、こういうところで何ができるのかというリストアップを増やしていってもらえることが一つである。</p> <p>あと、今回はもちろん間に合わないと思うが、今後、小水力発電や木質バイオマス、あるいは工場等の廃熱利用等を入れた場合のケースをさまざまな規模のシナリオとして提示すると、市民も「あ、こんな形にするとこうなんだ」ということが、わかりやすくなる。</p> <p>シナリオであるので、実際に導入するわけではないので、もちろん人力はかかると思うが、費用的には計算だけだと思うので、そういうところを提示すると、わかりやすくなる。</p> <p>今回は時間の関係上難しいと思うが、せっきく記載しているのであれば、そういうことも提起して、市民に伝えやすくしてもらいたいのも一つである。</p>
狩野委員	<p>数字的な検討も入れて、いろんなシナリオを描くと、全体で46%削減を達成するということに対して、市民にもわかりやすく伝わり、そのスピードもアップする。ぜひその辺もやっていただくと、私たちも再生可能エネルギーに関して、「あ、こういう発電でこういうこともできるんだ」とわかり、その辺をこうクリアにやっていただくと、私たちも励みになる。</p>
事務局	<p>46%という数値目標の設定については、国と同様の目標としており、本市の現時点で見込まれる省エネルギー対策や再生可能エネルギー導入量を前提とした計算での見通しでは38%程度となる。そのこの差の説明を求められていると思うが、38%というのは、国の事業の中身等を勘案して茨木市の規模に置きかえた場合に38.2%程度削減できるだろうという見込みになっており、46%までの間のところは、実際に事業を積み上げて「こういうことをやったら何%」という算出をしているものではなく、環境教育・啓発の部分をはじめ、技術革新や、そういう将来見込みの部分に頼っている部分があり、現段階で取組を明記するのは難しいという前提で、今のところは作成している。</p>
狩野委員	<p>今後、様々なことがわかってきたら、また明記できるのではと思う。</p>
事務局	<p>市民・事業者の意見をどのように取り入れていけるのかという事も今検討しており、取組としてやれるところを現実化し、その成果については報告をする。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
諏訪委員	細かいところで、例えば修正の方向だが、先ほど環境教育や情報普及という話も出たが、具体的にどう進めるのか。つまり、ここで「環境教育、普及啓発を行います」と、きれいにまとめていると、具体的に何をするのかがわからない。
事務局	現状では、例えば、小学校に対して「かんきょう」という冊子の配布やイベント時の呼びかけを実施しているが、脱炭素に関する部分については、求められるところに比べ少なめだと感じている。内容の検討や、どういったところに実施するのか、今後市民や事業者と実施する話し合いの場で検討し、見直しを進めたい。
諏訪委員	<p>例えば資料1-1の2のP. 6、7にさまざまな意見があり、すばらしいと思いここにリストアップされたのではないかと読み取れる。</p> <p>現在の環境教育は比較的廃棄物に寄り添ったものになっており、エネルギーに踏み込んだものは少なく、こどもはリサイクルイコール環境問題だと思う傾向がある。それはそれでとても大切であるが、バランスがとれていない。文部科学省の方針も変わりつつあると思うが、ここはこれまで手薄だった部分である。</p> <p>したがって、これまでの環境教育の延長線上では、再生可能エネルギーやエネルギー教育というところまで踏み込みにくい。</p> <p>しかし、今回の資料にはすばらしい意見がある。こどもたちへの教育だけではなく、大人への情報発信はどうあるべきかについて非常によく考えられた意見が寄せられている。これを一つ一つきちんと施策化してはどうか。こどもたちに環境教育を行っても、省エネ教育にしかない。また、社会人として再生可能エネルギーをつくる人材教育というのは別次元である。</p> <p>また、再生可能エネルギーを選ぶ教育は、こどもたちは電力消費者ではないので、保護者の意識が高くなければならず、これらの方々に対する情報発信をしなければならない。</p> <p>どうしたらよいかは、ここに書いてある。これを「やります」と言うぐらいの書き方にすると、これまでの情報発信、普及啓発を踏まえ、さらにきちんとした教育を実施できるきっかけになるのではないかと思う。すばらしい意見である。これを一緒に取り組まないか。そして、それを「やります」という書き方にすると、より具体性が出てくる。</p>
事務局	市としては、貴重なご意見をいろいろいただいているので、取り上げたい部分は多々あるが、実際に事業を、「これをやる」「あれをやる」という形につきましては、環境計画でも、他の計画でも、市の総合計画等

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	とリンクしており、総合計画の中で、基本計画や、その下の実施計画があり、5年毎に見直しをかけ、毎年毎年ローリングで見ていくという仕組みになっている。庁内的・全体的に議論をしていく中で、「これがやれます」という方向性が見えてくると、その実施計画の中で書き込んでいく流れになる。今どうなるかが見えづらい部分について、我々としては努力するが、個別計画では、かなり落とし込んだ具体的な内容を記載するのは難しく、若干抽象的な内容にとどまらざるを得ない。
諏訪委員	実施計画に具体的な案が反映される可能性があるということか。
事務局	その都度具体的な実現可能性や、周辺状況調査、地域住民の意向、コスト的にどうなのか、費用対効果がどうなのかといった議論をした上で書き込んでいくという話になり、我々としてはやりたいということで提案するが、書き込めるかどうかは、我々の次元ですぐにお答えできるものではない。実施計画にのれば、実現可能性が高くなったものと認識していただける。
山田委員	<p>情報発信の仕方だが、この計画がまとまれば概要版をつくり、わかりやすい言葉で、「市としてはこういう計画に基づいてこういう形で頑張っています。だから、市民もこういう形で頑張っていたきたい」というストーリーになると思う。今はインターネットの時代であり、活字だけでなく、音声と画像といったYouTubeのようなもので、「茨木市の環境計画をこのように進めているんだ」というPRがあればいい。</p> <p>活字、本を読んで目を通すのに比べて、YouTubeのように画像と音声で説明してもらうというのは、非常に頭の中に入りやすい。特に小さな子どもたちは、そういうことになれている。分厚い計画書の活字に目を通すのは非常に困難である。だから、今後の新しい情報発信やPRとして、YouTubeをつくっていただきたい。防災の危機管理では、そういうものがつくられている。だから、「環境版」というようなものを、30分程度でコンパクトにまとめていただいたら、頭の中に入りやすい。個人的にはそれを希望する。</p>
事務局	昨年度に生物多様性と地球温暖化を絡めた動画を作成し、YouTubeでの配信や、J:COMで一定期間の配信を実施した。
山田委員	そういうのを配信しているというのが、環境のほうのホームページに掲載しているのか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>J:COMでは継続的に配信していないが、必要に応じて検討したい。</p> <p>今後も同様の取組を随所で実施できればと考えているので、テーマや、「これがいいかな」という御提案等あれば、出していただきたい。</p>
久米委員	<p>最近QRコードを活用している資料がふえている。そうすると、冊子自身も薄くて、興味のある人は、スマホをぱっとかざすだけで、わかりやすい動画に飛んでいく。だから、そういうQRとか、いろんなものをもう少し活用し、文言にするところは、意識づけの部分で、読んでほしいことはできるだけ文章で、先ほどの茨木市が取り組んでいるような、いろんな成功体験や新しい技術などの紹介はQRコードでやると良い。</p> <p>例えば、資源エネルギー庁では、非常にわかりやすい日本全国の再生可能エネルギー導入事例が示されている。市のホームページで小水力について、非常にわかりやすく書いてあるが、果たして何人がそれ見ているのか。QRコードを活用すると、もっと見てくれると思う。例えば「小水力を導入するだけで、茨木市さんは600万円ももうかったんや」とかいうのがわかり、「へえ、水圧差を売るだけで、そんなにもうかってるんや。しかも再生可能エネルギーも増えるから、ものすごくええやんか」というような意識づけになる。情報が至るところにあるのに、みんなの目に届いていない。小学生であれば小学生向けのわかりやすいサイトも様々あるだろうと思うので、そういうようなものをいろんな部分で活用して、わかりやすく、PRしてほしい。動画と文章とでは入ってくる情報量が全然違うので、できるだけ動画も活用してもらいたい。</p>
金谷委員	<p>資料1-1の後半の「2. 提案・賛否・感想等」について「市の考え方はお示ししませんが」という部分だが、私はほかの審議会等でパブコメのまとめ方について何回も見てきた経験があるが、パブコメを実施すると、案件に直接関係ない意見が結構届く。だから、一般論で言うと、こういう形に分けることはわかるが、今回のやつを見ると、ほとんどの意見がそうではない。つまり、導入戦略そのものの大事なことがいっぱい書かれている。だから、このまとめ方はだめだと思う。</p> <p>例えば6ページの3番目の意見など、非常に具体的に、「こうやったらいいんじゃないか」と書かれている。ほかにもいっぱいあるが、ここに書かれていることは全部、この計画に直接関係することばかりである。だから、それに対しては、市の考え方を書くべきである。「市の考え方」とは、「今回の計画には具体的に反映できない」ということも考え方である。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>せっかく書いてくれたんだから、それに対して、この「市の考え方」のところに、例えば今おっしゃったようなことでいい。「それらについて、今回の計画に導入は時間的に困難だけれども、実現可能性について1個1個検討している」ということを書くべきである。それが、忙しい時間を割いて意見を出してくれた人への礼儀である。私が見た感じでは、2の部分で導入戦略に全然関係ないことはほとんどないという気がする。だから、書き方として、短くてもいいので、「市の考え方」という枠をつくったほうが良い。</p> <p>もっと言うと、できれば、「市の考え方」のところにもう1個欄をつくり、市の対応の分類を書いたらもっとわかりやすい。つまり、「修正・追記あり」の部分は何か「○」でもつけて、あとは「既に議論済み」や、「修正しないけれども今後検討していく」や、「この部分は今回の計画と違う部分なので、広い意味で参考にする」等、何か分類があると、読むときに非常に楽である。</p> <p>だから、出てきた意見に対しての「市の考え方」をもう少し整理する対応を考えたほうが良い。</p>
	<p>パブリックコメントのまとめ方について、貴重なご意見をいただいたと思う。</p> <p>今回いただいた意見に関しては、再生可能エネルギーとか温暖化対策を推進していく上での御意見がほとんどだということは、こちらのほうとしても捉えているが、2に書いているところに関しては、特に「感想」というような部分や、人員体制や、審議会の傍聴席などで直接関係ない部分である。また、一人の方から多くの意見があり、その中で計画案に反映させる部分と感想の部分という形で、その部分も切り分けて一旦整理している。</p> <p>「感想」のところで、先程から議論いただいていた環境教育に関して、今は小学生を対象に、廃棄物が中心になっているということだが、本市は、生物多様性から地球温暖化を考える冊子を作成している。また、環境に関する市民活動をされている多くの方々が本市のボランティアとして登録いただき、廃棄物に限らず、いろんな分野で環境に関しての学習を小学生に提供するような冊子もつくっていただいている。</p> <p>また、学校現場においては、学校で取り組まないといけないカリキュラム等々もあるので、そのあたりについては、学校教育の部局とも連携しながら、今後も充実した環境計画に取り組んでいきたいと考えているので、参考にさせていただく意見としてまとめた。</p>
会 長	金谷委員の意見は、まとめ方に関して、例えば1件1件「参考にさせ

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ていただきます」と同じ答えでもいいので、1件に対して対応するような形にすると丁寧だという意見である。一括で記載するよりも、コメントに1対1で対応にすると、同じ文面であっても丁寧なので、その辺も含めて検討いただきたい。</p>
会 長	<p>それでは、「茨木市再生可能エネルギー導入戦略（案）に対するパブリックコメントの意見とその対応について」の審議は以上とさせていただきます。</p> <p>続いて、議題(2)、「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に対するパブリックコメントの意見とその対応について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>＜10分程度の説明＞</p>
会 長	<p>事務局から説明があった。意見交換は20分、11時25分までとする。ご意見等のある方は、挙手いただきたい。</p>
金谷委員	<p>先ほどと同様だが、資料2-1の5ページ以降で、2として「提案・賛否・感想」となっているが、「提案」と「賛否・感想」は全く別だと思う。</p> <p>「賛否・感想」のほうはまだ、このスタイルでもいいような気がしないでもないが、「提案」というのは、もちろん本当に耳を傾けるべき提案と、難しいものも混ざっていると思うが、それに対しては「こう考える」というのを書くべきである。その上で、分け方の基準がよくわからない。</p> <p>説明で、この計画に直接関係ないことをこっちに入れたという話だったが、本当にそうなのかなという気がする。どっちかと言うと、市が今のところ具体的にできそうもないことはこっちに入れたように見えなくもない。計画のほうも短期的なものと中長期と分けているわけですから、意義あるものや、検討する必要があるものについては、「中長期的にはそう考えるけれども、今のところはまだ検討が必要だ」という市の考え方を記載されたい。</p> <p>資料2-1のまとめ方については再考されたほうが良い。ここできちんと対応して書かないと、今後意見を出した人がやる気をなくすと思う。</p> <p>あと、ほかの市民の人は、ちゃんと出せばこういう形で市のほうが受けとめて対応を書いてくれるということがわかるので、そこはもう少し丁寧にされたほうが良い。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>先ほども申し上げたが、提案のところについては、前半の意見の概要で、市の考え方を答えている部分と類似する部分も多くあると思うので、そういった視点で、提案の部分に関しては追記したい。</p>
諏訪委員	<p>非常にいい意見をたくさんいただけて、すばらしい。</p> <p>同時に、意見の多いものを拝見すると、太陽光の導入の目標値が低いのではないかという意見が多い。2030年時点で新築住宅の太陽光発電の導入を検討されたいという上向きの意見がある中で、守りの姿勢のコメントの方が多く非常に残念で、既存住宅に対する手当てとか、事業向け太陽光について具体的に、「こういうのがありますよ」という普及促進だけでは動かないと思うので、もうちょっと踏み込んだ対策をどう打ち出すのかということも含めて、考えをきちんとまとめて、皆さんにお示ししたほうが良い。</p> <p>例えばコメントの11番は、事業向けの太陽光について「取り組みます」「追加します」ということで、本当にすばらしいことだと思うが、「取り組みます」というのは、公共施設については「取り組みます」というのは主語が一人称でいけると思うが、事業所には取り組ませるということである。</p> <p>他人に対してさせるということなので、そのためには、具体的な政策として何を打ち出せるのかということまで考えていると期待するが、この書き方ではそれが見えない。</p> <p>また、コメントの12番も、「再エネ導入について、再エネ電力への切りかえを追記されたい」ということだが、「ライフスタイル」「ビジネススタイル」という書き方だと、ちょっと見えにくい。</p> <p>これはほかのところにもあるが、再エネ電力に対する切りかえはすぐにできる。これに対する具体的な提案もなされている。それに対して、具体的にどうするのか、そこについても踏み込んで書かれると非常に頼もしい。</p> <p>この観点に関しては、「提案・賛否・感想」の19ですが、「転入届けの手続の際に再エネ電力について紹介するなどの普及啓発を行ったらいいのではないのでしょうか」という具体的な提案がある。その前のコメントもそうである。100%目標に設定しましょうという、非常に踏み込んだ、政策に対する提案をいただいている。</p> <p>一つ一つ粒ぞろいのコメントだと思う。ここら辺について、現行の市の考えがその書き方になってしまうのはわかるが、わかりやすく、いただいたコメントに対して、具体的には、できるかできないか、ここで判断するのは大変だと思うが、できることとして、「こういったことにつ</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>いては今後前向きに、実施について考えていきたい」というような、戦略的に前向きな姿勢を入れていただくと、書いた側も甲斐があるのではないかと思う。</p> <p>繰り返しになるが、提案の部分に関しては再度整理をする。具体的にロードマップの中に記載している箇所もあるので、どのように検討していくかというような形でその他施策に対する提案というようなところでまとめさせていただいて、対応も検討して記載する方向で整理したい。</p>
田中委員	<p>2の提案・賛否・感想の部分で、環境関係の部署一つで対応できる話ではなく、住宅・都市計画や、防災といった中で様々な部署が絡んでくる話である。この案は、各部署に回しているか。</p>
事務局	<p>はい。パブリックコメントと同時に庁内意見も募集し、庁内意見も含めて、こちらに記載している。</p>
田中委員	<p>私は、行政にはいなかったが、コンサルタントにいて、そういうときは大概、意見はあまり出てこない。</p> <p>そういった中で、これは、結構重要な話もあるし、いますぐ何かできるという話でもない。例えば区域を設定したほうがいいと言っても、区域設定をどうするか、都市計画や条例化をし、違反した人には罰金を科す。都市計画や建築基準法で災害危険区域の違反をした場合、滋賀県の事例では罰金50万円の強制力を持たせるという案があった。これは自民党が反対して結局なくなったが。</p> <p>要するに、環境問題というのは、実は国も、霞が関もよくない。環境省に力がない。むしろ国交省や厚生労働省の具体的にやってくれるところのほうが、圧倒的に力が強い。そういう意味では、市内でもそういう人たちの力も借りながら、これを具体的に、今はロードマップがある中で、茨木市として、あるいは、もっと言うと、北摂としてとか、そういう中で、具体的に、最後は条例化していくんだというぐらいの意識で、例えばいろんな部署と融合させながら、条例化していき、確実にその目標値を達成するような、それは憎まれる部分もあるかもしれないし、逆にすごくポジティブになるかもしれないし、そういうことも考えていく時期ではないか。</p> <p>これは、今、表に出す話ではなくて、市としてのスタンスである。これから5年先、10年先、20年先にどうバトンを渡していくのかという意味で、そういうのを検討する場が市の中でも必要ではないか。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>それが、一つの部署でやっているのだから金谷委員から指摘されているようなことにつながっているのではないかと。環境という一つの部署が取りまとめるが、具体的な話は各部署にもかかわってくるので、そこは庁内でも真摯に意見を抽出するような場を設けたほうがいいし、やつつけ仕事でこうなっているのかなというのもあるので、そこは長い目で見て、市の仕事としてやってもらいたい。</p> <p>具体的にこれをどうこうというのは、金谷委員が言ったような仕分けをすればいいのではないかとというのが私の意見である。</p>
事務局	<p>庁内体制については、もちろん環境施策につきましては担当課だけでできるものではない。庁内横断的に、政策推進会議というような位置づけで、環境専門部会というのが本市にはあり、そういったところを活用して、再生可能エネルギー導入戦略や温暖化対策実行計画の改定なども共有していきたいと考えている。また、次期温暖化対策実行計画の事務事業編、「エコオフィスプランいばらき」と呼んでいるが、そちらも今回の戦略策定と温暖化対策実行計画改定案とを整合させながら、次の計画を今、庁内でもんでいるところである。そういったところで共有を図っており、また、今回パブリックコメント等でいただいた意見に関しても庁内で共有を図っていく。</p>
久米委員	<p>今回の「提案・賛否・感想等」ということと「市の考え方についてはお示しませんが、いただいた提案・賛否・感想については」というのが、ここに載せられると、非常に否定された気分になる。</p> <p>これは貴重な御意見であるので、一つ一つ何か、ちょっとでもいいから、市の見解と、1の部分は今回の計画案に実際に反映した御意見で、2は反映できなかったけれどもいただいた御意見である。</p> <p>最初に「考え方はお示しませんが」とか「賛否」とか書かれると、「わしゃこの意見についていちゃもんつけとるクレーマーか」というようなイメージにとりかねない。</p> <p>せっかく勇気を持ってパブコメを出してくれている貴重なアドバイザーであるから、それは、いろんな意見の中に、賛否もあるし、答えにくいこともあるが、「参考にさせていただきます」というのも、ある意味、市の考え方ではないか。</p> <p>そんなのでもいいから、一つ一つ回答欄にして、パブコメのあと、「こんな意見ありました」「こんな考え方です」というふうに出すときに、この書き方をされると、次から意見を言おうかという気にならない。</p>
事務局	<p>御指摘のとおりである。庁内でこの資料の調整をしている中でもそ</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ういった話は出ていたが、今回委員の皆様を送付する際にこのあたりを失念していた。ご指摘はごもっともであるので、表現のほうは改める。
久米委員	「賛否」とか「示しませんか」とかいうのは強い文言だと思うので、考えていただきたい。
事務局	改めます。
諏訪委員	「今後の事業検討の参考」というところが少しふわっとしていると思ったので、先ほどおっしゃっていただいたように、「実施計画策定の折の参考にいたします」、それから「施策・ロードマップ改定に向けての参考にいたします」というように、具体性を持たせるようにすればよいのではないか。
会 長	貴重な御意見をいただいているので、そういった形でわかりやすく御回答いただきたい。
会 長	<p>それでは、議題(2)「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に対するパブリックコメントの意見とその対応について」の審議はここまでとさせていただきます。</p> <p>追加のご意見等につきましては、3月20日(水)までに電子メールで事務局までお送りください。</p>
会 長	<p>それでは、次の議題に移る。</p> <p>議題(3)「答申（案）について」を議題とする。</p> <p>昨年10月24日に本審議会で「茨木市再生可能エネルギー導入戦略」と「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」について、市長から諮問があり、今回の審議会を含めて計4回、審議をしてきた。</p> <p>市長への答申については、日を改めて行うことになるが、今回の会議で審議は最後であるので、審議会として答申の内容を固めたいと考えている。答申の概要と流れについて事務局より説明をいただきたい。</p>
事務局	< 5分程度の説明 >
会 長	事務局から説明があった。意見交換は15分、11時45分までとする。答申書に加えるべき内容について意見等ある方は、挙手いただきたい。意見については、答申案の「記」の下のところに記載し答申書として作成

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
諷訪委員	<p>したいと考えている。</p> <p>この「今後の計画策定にあたって」というところを、具体的にどうい う計画をいつ作成するのか。</p>
会 長	<p>答申案であるので、そういったことも含めてこちらで提案するとい うことで、そういった部分も含めて、計画のところを、必要があるとい うことがあれば「必要がある」という書き方にする。</p>
諷訪委員	<p>今後、先ほどおっしゃっていた実施計画や施策のロードマップが非 常に重要になってくる。</p> <p>こちらに具体性を持たせて、市民とのインタラクションを確保する ことが非常に重要になるため、「今後計画策定し、実施計画を具体的に 策定し、そしてそれを実行していくので、それはいついついつまでにや りたいと思っているから、よろしくお願いします」ということを示すべ き。</p>
会 長	<p>ロードマップを具体的に作成し、実際に実行に移す過程のところも 具体的に示すようにといったことか。</p>
久米委員	<p>ここに書くべきかわからないが、例えばコロナとか熱中症の関係な どがここのところ急激に出てきて、省エネの考え方も変わった。</p> <p>だから、こういう環境とか再エネについても、長期ロードマップをつ くることは非常に重要だが、「フレキシブルに、そのときの情勢を見直 しながら、タイムリーに活動を修正する勇気も持っていただきたい」と いう文言を入れていただきたい。</p> <p>今回のウクライナの戦争もそうだが、ああいうことがあると、エネル ギー事情はがらりと変わる。</p> <p>それと、異常高温で、ちょっと前までは28℃前後に設定しなさいと言 っていた環境省も、熱中症の関係で、余り言わなくなった。室内温度が 28℃を指していても実際の体感温度が28℃を超えていて熱中症になっ ている人も非常に多いということがわかってきたとか、そういうこと もあるので、一つの方針、中長期にとらわれてはいけけないので、「フ ットワークよく、タイムリーな情報を反映しながら」という文言を入れ ていただきたい。</p>
会 長	<p>気候の問題や世界的な情勢は、エネルギーが一番そこにかかわって くるので、石油だけではなく、ほかの資源も含めて、大切なことであ</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>る。</p> <p>身近なところでは、コロナあるいは生活の面で、熱中症も含めた、そういったことにも対応して、臨機応変にといったことを含めていくということでしょうか。ありがとうございます。そのほかございませんか。どうぞ。</p>
狩野委員	<p>市全体を横断的に、部局間の話し合いも持っているとのことだが、再度ここで、市全体で取り組むということを描いていただきたい。</p>
会 長	<p>温暖化実行計画も茨木市が作るものであるから、市の各部局との協力を密にしていきたい。</p> <p>市民の方にもわかりやすくとか、そういうところも含めてという形でよろしいか。</p>
金谷委員	<p>基本的な構成を確認したいが、資料３で下から２行目に「別添案を取りまとめたものである」とある「別添案」は、先ほど議論した資料１と資料２のそれぞれの計画案のことを指すのか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
金谷委員	<p>そうすると、半分は形式のことになるが、資料１の再生エネルギー導入戦略（案）のほうは「茨木市」になっていて、資料２のほうは何も書いていないが、ここのたてつけに違和感がある。</p>
事務局	<p>実行計画は、作成の都合上、変更箇所だけを束ねたような形になっているので、表紙に「茨木市」ということで一つの計画のような扱いにはしていない。差しさえだけを束ねたものになっている。</p>
金谷委員	<p>「別添案を取りまとめたものである」となると、審議会の名前でこれが出ないと、何か変な感じがする。だから、表現が違うほうが良い。</p> <p>茨木市はこのスタイルなのかもしれないが、私の意見としては、実際にやったこととすると、市のほうで案を作成し、ここで審議会の意見が出て、パブコメを実施して、市のほうで今、最終案をつくっているわけで。</p> <p>どちらかと言うと、今、「下記の意見を付して」という部分に意見がいろいろ、この時点で出ていて。きょうで終わりですね。そうしたら、ここに意見の案みたいな文言があって、「これでいいんですか」という形のものを出示してもらったほうがよかったのではないかという気</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>がして、この「別添案を審議会として取りまとめた」という表現に若干違和感がないことはない。</p> <p>今後の計画策定は、実施計画やロードマップをつくっていく上で尊重されることを求めますという意味ではないのか。</p>
事務局	現在示している計画案のことである。
金谷委員	「別添案」と「今後の計画策定」は、実は同じことを言っているということか。
事務局	そうである。
金谷委員	そういうものであれば仕方ないと思うが、そこが気になる。
会 長	再生可能エネルギー導入戦略（案）と、実行計画（区域施策編）の内容を議論してきたということで、これをつくるために今年度４回議論してきたわけである。
金谷委員	<p>今まで審議会に出てきた議論のことを集約したような記載があり、「こういうふうな意見があって、こういうふうなことを踏まえて、答申としてこういうふうなものができてきた」ということが見える形のほうが、本来すっきりするのではないかという意味である。</p> <p>もちろん、意見がたくさん出たので全部は書けないだろうが、「こういうふうな意見とかこういうふうなものがあつた」という記載があれば良いが、この表現が若干ぴんとこない。</p> <p>そこは会長と委員にお任せするが、実質的には、「下記の意見を付して」という部分がここに見える形になっていたほうが、あとはこの希望とかを含めたほうが良いのではないか。</p> <p>そういう意味では、「下記の意見を付して」という部分は書かなければならない。</p>
会 長	前回までの意見も含め、審議会の第１回からの流れも加味して、議論してきた方向性を今回の答申として出していくということではないかと思う。
諏訪委員	さきほどの私の提案があやふやであつたので、具体的な文言として提案を申し上げるとすれば、「今後の計画策定」というのが当該計画がどの計画なのかしっかりとさせていただきたいのと、また、「当該計画の実

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
風間委員	<p>現可能性を担保するために、政策実施計画を立案することを求める」に していただきたい。細かいところは編集していただきたい。</p> <p>人を動かす組織の関係もあるし、特に条例とかをつくっていたら、市 議会とか、そういうためにどういう動きをしなければいけないかとい うマスタープランを立て、再生可能エネルギーでもいろんな分野があ るので、それも含めて、その詳細を決める時期とか、そういう全体のマ スタープランを立て、細かいのがざーっと出てくるものを立案して、動 いて、推進していったらいいと思う。</p>
会 長	<p>本日も多く出ていた情報発信、環境教育の記載も必要である。</p> <p>環境教育は難しく、小学校でこのエネルギーは、6年生のときに出て きて、ソーラーパネルは「光電池（こうでんち）」という言い方もする が、現行では6年生で学ぶことになり、さまざまなエネルギー、発電に についても学んでいく。</p> <p>そのため、電池の一つとして考えていくという考え方になる。エネル ギーもまだわからないので、総合的な学習の時間で探求の授業もあり、 そういったところで自主的に学んでもらうことが大切である。そこで 情報がわかるように、「だったら、市役所のあのページに行けば載って いるな」とか、「学ぶことができるな」という形が大切である。先ほど も、動画の配信や、QRコード、茨木市作成している様々な冊子も活用 し、一つの方法ではなく、多面的に環境教育を実施していくこともこの 審議会の中で出てきたと思うので、そういったことも含めて、教育も含 めて、この答申に記載していきたい。</p>
会 長	<p>それでは、議題(3)「答申（案）について」の意見交換はここまでと させていただく。そのほか追加で意見がありましたら、3月20日（水） までに事務局へ連絡をお願いする。</p> <p>また、最終的な答申書は、本日の会議でみなさまから出た意見等を私 が取りまとめて文案を作成し、委員の皆さまに確認いただいた上で、私 が完成した答申書を郵送でお送りする形で答申を実施しようと思いま すが、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（異議なし）</p>
会 長	では、答申はそのようにすることとする。
会 長	それでは、次の議題にうつる。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	議題(4)「次期茨木市環境基本計画の策定について」事務局から報告をいただきたい。
事務局	<10分程度の説明>
会 長	次期環境基本計画に向けた検討状況の報告というところで、ボリュームもあったが、来年度、4月以降も審議していくことになる。時間もないので、「特にこれだけは伝えておきたい」というところがあれば、挙手いただきたい。
諏訪委員	アンケートに「再生可能エネルギー・電力を使いますか」という項目が出てこないのは、なぜか。
事務局	今回は、環境だけのアンケートではなく、総合計画のアンケートの一環として行われているためである。
諏訪委員	<p>太陽光導入については出てくるが、自分の家に太陽光をいれるのは大変である。電力切替について、オプションとして出てこないというところは、少しアップデートが必要ではないか。</p> <p>今後、実行計画の部分を改定して素案を作成すると理解したが、どうか。</p> <p>逆に、実行計画のほうがフレキシブルなのか。こちら、先ほどまでの再エネに関する議論を踏まえて、「導入の取組の例」というところをかなりアップデートされたほうがいいのかという印象を持っているので、重点的にいろいろ変えられるというのであれば、こちらの再エネのほうをここでやるが、そちらとリンクしたような形で、実行計画のほうも積極的な取組ということで、当面やることということで書かれている部分もアップデートできると思うので、大幅な改定を期待する。</p>
事務局	<p>誤解があったかもしれないので、もう一度確認するが、実行計画は、いつ見直しするというのは特に決まっていない。法令上の見直しの必要が生じたタイミングがあれば、見直しをしていくことになる。</p> <p>今回は、再生可能エネルギー導入戦略があったので、それに伴って見直すべきところを見直したということであり、フレキシブルに変えられるというものではないということは念頭に置いていただきたい。</p>
諏訪委員	先ほど素案を改定されるというコメントがあったように思うが、そ

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>これはこの実行計画のことか。</p> <p>実行計画の改定は、今回議論いただいた内容の範囲で改定を行うということである。</p>
会 長	<p>それでは、時間になったため、議論４に関する審議はここまでとしたい。</p> <p>本日の議題は以上とする。</p> <p>これをもって、令和５年度第４回茨木市環境審議会を閉会する。</p>